



団体名 **SUHARA MUSIC FES 実行委員会**

事業名 **第5回 SUHARA MUSIC FES** [令和6年度まちづくり活動]

事業の紹介

令和6年4月で第5回を迎える音楽フェスティバルで、地元の音楽活動家が実行委員会を立上げ、アマチュア音楽家に発表の場を提供し、若手音楽家を育てるとともに、市民が音楽をきっかけに交流を深め、刈谷北部地域活性化につなげる事を目的とした音楽イベントです。

キッチンカーやマルシェもあり、生の音楽演奏に触れる機会になったとともに、洲原公園の桜開花時期に、地域の皆さんの憩いの場となりました。「かりや夢ファンド補助金」は会場使用料や音響、照明、会場設営費等イベント開催費として活用されました。



補助金額 **20万円** / 総事業費 **120万円**



写真：「BH-10」演奏ステージ

協働の役割分担



市民活動団体 ＜役割＞	地元(井ヶ谷)民謡愛好会、子ども会、愛知教育大サークル、アマチュア音楽活動グループ等 ＜参加し、盛り上げる＞
事業者 ＜役割＞	＜演奏者として参加、協賛、食事コーナーなどの音楽以外の出店他＞
教育機関 ＜役割＞	愛知教育大学サークル・附属高校合唱部＜演奏者として参加＞
行政 ＜役割＞	広報広聴課＜イベントPR＞

取組みの流れ

こんな想いでスタートしました

子ども、大人、プロアマ問わず、音楽が好きな人たちが集まって、演奏を披露する場を作りたいと考えて2018年に始めました。
多くの人に音楽を聴いてもらうことで、音楽の楽しさを感じる人が増えると、演奏者は嬉しくなり、街も音楽というツールで活気づいてきます。地元の人の楽しみになると、協力者がうまれて、それぞれの音楽活動の継続につながるきっかけとなることを期待しています。

こんな準備をして取り組みました

社会人バンド、小中学校ブラスバンド、愛知教育大学サークル・附属高校合唱部、刈谷市音楽協会など、刈谷市内外からの出演者を募るとともに、プロのマジシャンや、国際交流団体などにも縁を広げ、参加いただきました。
インスタグラムをはじめ、井ヶ谷町 HP・町内回覧板掲載、市民だより、ホームニュース、KATCH 等多くの協力を得て、参加者・運営ボランティアの募集、イベント紹介をしました。

こんな点を工夫しました

クラシックからジャズ、ロック、ダンスなどジャンルを問わない音楽祭として、年齢や出入り制限も行わず、演奏者もセミプロからアマチュアまでさまざまで、参加する側の敷居を低くしました。

屋外にはマルシェもあり、自由な雰囲気ですらっと気軽に立ち寄り、訪れた人が『いつもと違った音楽も聴いてみようかな』と音楽を聞く事へのハードルも下げる工夫をしました。

●「まちづくりコーディネーター」は、刈谷市民のまちの課題を「自分ごと」と考え、取り組んで行くために、参加のよびかけ・対話・活動の運営をお手伝いしています。

★「かりや夢ファンド」は、刈谷市民が「刈谷のまちをよくしていく」活動を応援する補助金制度です
【問合せ】 刈谷市役所 市民協働課 TEL0566-95-0002 詳細は市ホームページをチェック！>>



こんな活動をしました！

日 時：2024年4月 6日（土）13時～17時
7日（日）10時～15時30分

場 所：北部生涯学習センター

参加者：演者（30組 180名）、運営者（30名）、

学生ボランティア（3名）、

来場者（4月6日（土）1500名、7日（日）2000名）

広報媒体：井ヶ谷町ホームページ、町内回覧板、市民だより、

ホームニュース、KATCH、団体ウェブサイト（Instagram）

協 賛：17団体 後 援：7団体

内 容：メインホール（屋内）6日は和太鼓、創作ダンス、クラシック音楽等を中心に演奏
7日は短編映画、ジャズやロックを中心とした音楽会を開催
イベント広場（屋外）6日はゴスペル、7日はジャズ、マジックショー等



こんな効果が生まれました

- ・桜開花時期に北部で行われる街活性イベントとして認知・浸透されてきました。
- ・舞台上で演奏するだけでなく、他のバンドを聞くことで、若手音楽家の育成に繋がりました。
- ・音楽家同士が集う機会となり、お互いにステージを盛り上げ、交流が広がりました。
- ・地元愛知教育大学等と連携し、部活動紹介の機会に。
- ・気軽に生演奏が聞け、音楽に触れる機会が出来ました。

こんな課題がありました

- ・イベント開催を周知し、定着させるために、広報や多くの協賛の確保が必要です。
- ・開催運営に一定の経費がかかることから、安定した財源の確保を模索しています。今後は市内外に協賛を依頼するなど、ご支援を募りたいと考えています。
- ・マルシェや公園利用者を屋内へと誘う流れを作ることが難しかったです。

今後に向けて

- ・10回開催を目指して、地元の人にもっと来てもらえるイベントに定着させたいです。
- ・次回（来年）は2025年3月29日と30日に開催を予定しているので、準備していきます。
- ・いろんな活動団体と協力して補助金が無くても、開催が継続できるよう、運営していきたいです。

参加者の声

- ・この SUHARA MUSIC FES に参加する人は音楽を楽しむ仲間、演奏の上手下手、ジャンル関係なしにやってみる場であってほしい（出演者／実行委員）
- ・「すごい～！全然仕掛けが分からない。初めて見たけど、良かった。」（マジックショー観客）
- ・募集チラシを見て、受付ボランティアに参加。チラシをもらってもらう声かけが難しいけど、楽しい。（学生ボウ）

主催団体の声

- ・ボランティア参加し、主催している方も出演して演奏しているのがいいなと思った（ボランティア）
- ・井ヶ谷町はこんなに立派な施設があるので、もっと利用されて音楽好きな人が集まる町になると良いな。
- ・音楽最高！また来てね！

取材を終えて…まちコの感想

- ・出演者インタビューで「参加する人は音楽を楽しむ仲間」と話されていたのが印象的でした。どんな人でも音楽を発表できる場がある事がすごく素敵なことだし、今後も続いてほしいと思いました。（石田）
- ・音楽好きの仲間が集い、好きな音楽を地元の活気につなげられていました。「好き」という思いが可能性を広げるまちづくり（社会貢献）の形を学ばせて頂きました。来年も楽しみです。音楽万歳！（松浦）

ご感想や
「参加したよ」等は
こちらから▼

